



【学校教育目標】

ここ西当別の大地で
高い知性(知) 強い意志(徳)
健やかな体(体)
を求め、自らの進路を切り拓こう

令和7年11月 5日 当別町立西当別中学校 学校だより「垂穂」第8号 学校長 森 聡 発行

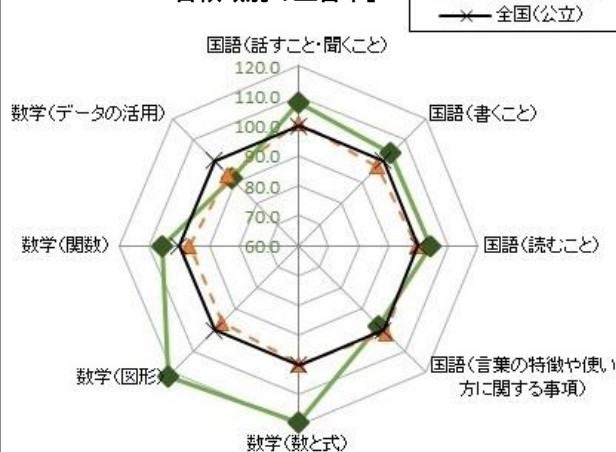
◆ 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果 ◆

令和7年4月、3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果について、分析・考察を行いましたのでご報告いたします。

今年度は例年実施される「国語」「数学」に加えて、端末を用いる形式で「理科」の調査も行われました。本校では、調査結果から生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の充実や授業改善の取組を進めています。ご家庭でもお子様の指導等の参考にいただければと存じます。

なお、本調査の結果につきましては、本校の学力のすべてを表すものではないことを申し添えます。

【国語・数学における
各領域別の正答率】



今後の授業改善の方向性

本校生徒の課題となる資質・能力の育成に向け、学校全体で授業改善を進めていきます。自分の考えが伝わるように表現する力、根拠を明確にして考える力の育成について、全教科の授業で教科横断的に取り組みます。基礎・基本の定着を大切にしつつ、対話的な学習を充実させ、生徒が主体的に学びに向かい、協働しながら課題解決する学習活動を行っていきます。

また、授業における「振り返り」を重視し、学んだことを新たな疑問や生活と関連付ける意識を高め、学びを深めるメタ認知能力(振り返る力)の向上を図ります。

今後も、生徒の学力や学習状況の把握に努め、成果と課題の検証・改善を進めます。生徒が安心して学ぶことができる教育環境の整備・充実を図り、教育活動全体を通じて生徒一人一人の良さと可能性を導く指導に努めます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

生徒質問紙調査より

本校生徒の「強み」と考えられること

◇教員からの支援、学習への意欲、ICT活用能力、友人関係、社会への関心など、多岐にわたる側面で高い自己評価を示しており、これは大きな強みといえます。特に、勉強時間やICT活用に関する前向きな姿勢、そして国語・数学・理科に対する「好き」という感情は、学習の土台として非常に有望だと考えられます。

本校生徒の「課題」と考えられること

◇生活の基盤、自己・他者への関わり、そして深い思考や学んだことの活用に関して、北海道や全国平均と比較して低い傾向が見られました。

◇学習内容の定着と応用、より深い学びへの指導が必要と考えられます。

国 語		全国平均正答率と比較して、同程度の状況です。
学習指導要領の領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	全国と同程度です
	話すこと・聞くこと	全国よりやや高い状況です
	書くこと	全国と同程度です
	読むこと	全国と同程度です
<p>正答率が全国より高く、学力の定着が見られた項目</p> <p>○読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる。</p> <p>○読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。</p> <p>正答率が全国よりも低く、学びなおしが必要と思われる項目</p> <p>●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。</p> <p>●目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</p>		
数 学		全国平均正答率と比較して、やや高い状況です。
学習指導要領の領域	数と式	全国より高い状況です
	図形	全国より高い状況です
	関数	全国と同程度です
	データの活用	全国よりやや低い状況です
<p>正答率が全国より高く、学力の定着が見られた項目</p> <p>○素数の意味を理解している。</p> <p>○ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。</p> <p>○統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる。</p> <p>○事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>正答率が全国よりも低く、学びなおしが必要と思われる項目</p> <p>●相対度数の意味を理解している。</p> <p>●必ず起こる事柄の確率について理解している。</p>		
理 科		全国平均 I R T スコアと比較して、同程度の状況です。
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	全国と同程度です
	「粒子」を柱とする領域	全国と同程度です
	「生命」を柱とする領域	全国と同程度です
	「地球」を柱とする領域	全国と同程度です
<p>調査結果が全国より高く、学力の定着が見られた項目</p> <p>○化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができる。</p> <p>○大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できる。</p> <p>調査結果が全国よりも低く、学びなおしが必要と思われる項目</p> <p>●露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できる。</p>		